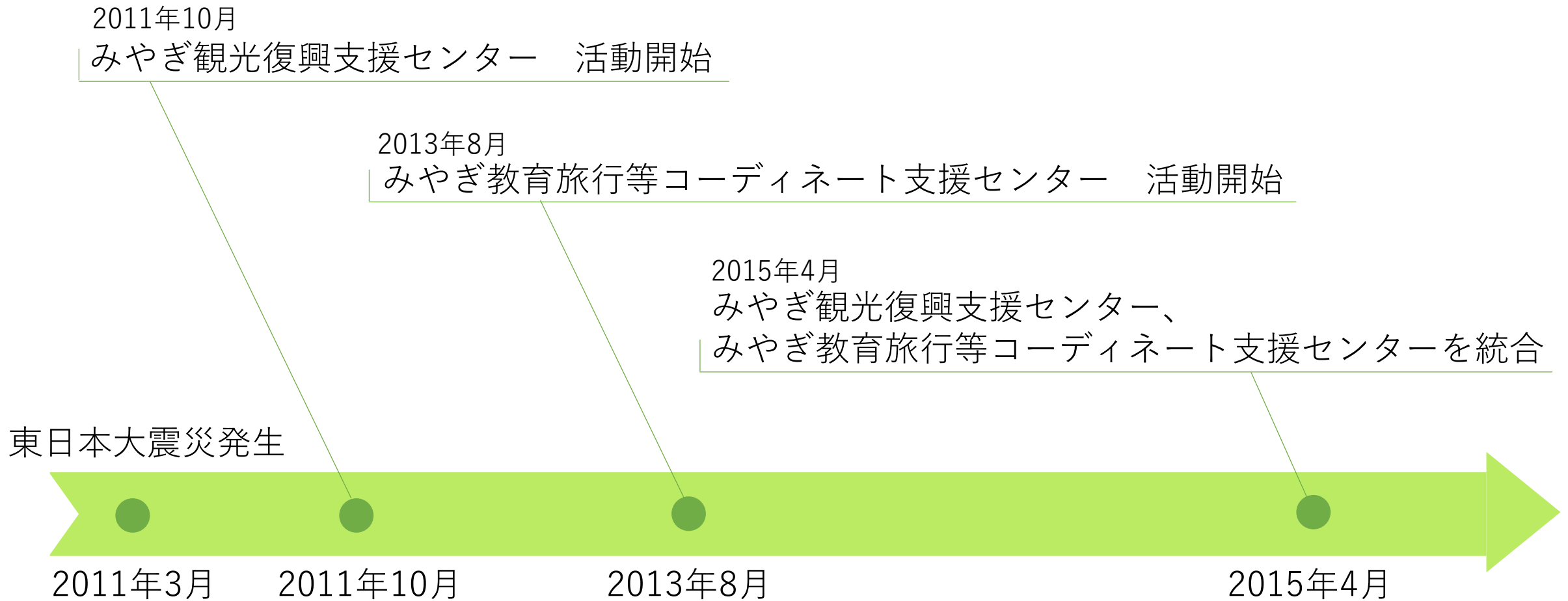


被災地での震災学習の 可能性について

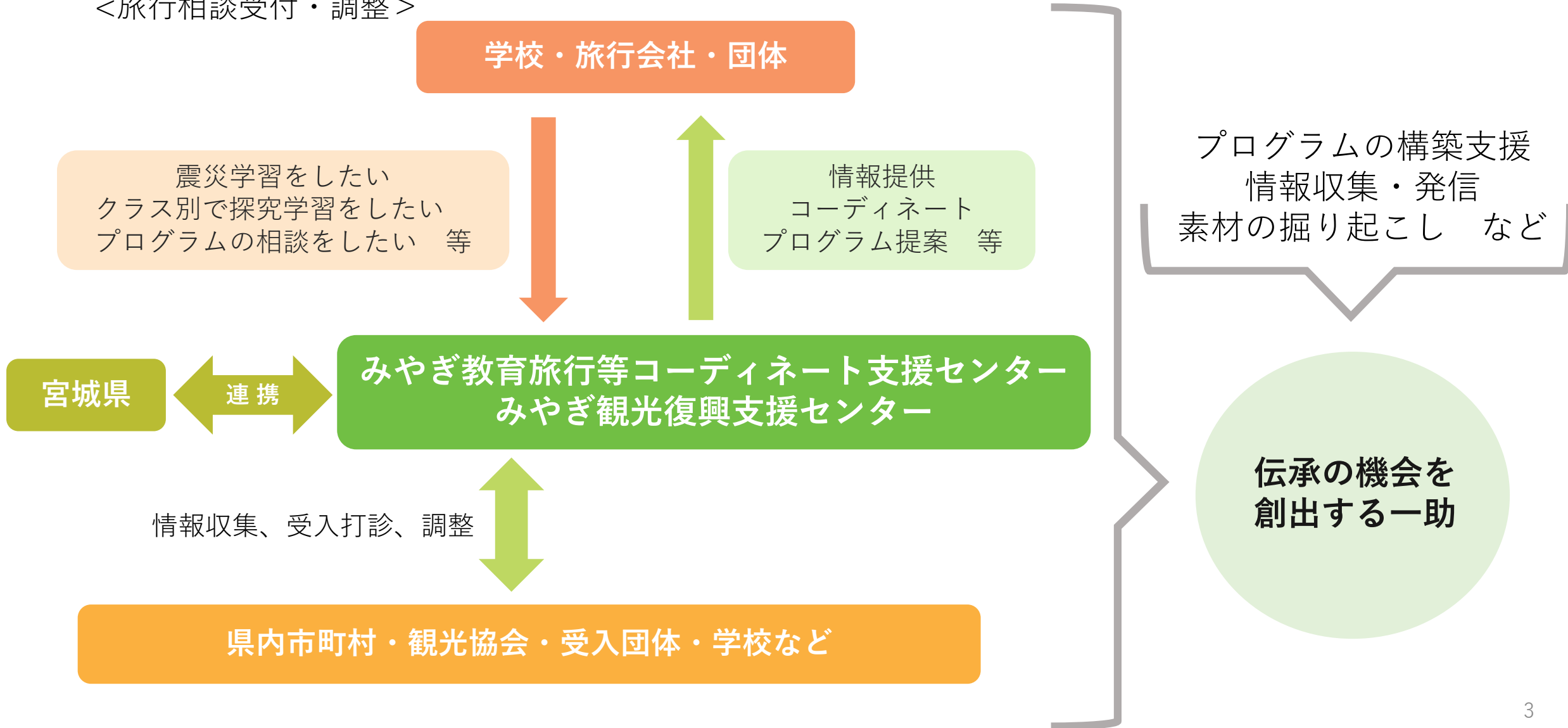
みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター
みやぎ観光復興支援センター
センター長 三浦 均

当センターの歩み



センターの事業内容

<旅行相談受付・調整>



センターの震災学習推進の取り組みについて

情報発信

2023年度版 宮城県教育旅行ガイドブック内
「震災・防災・減災学習」カテゴリに49件掲載（令和5年3月現在）

みやぎ海への旅案内サイト内
「震災学習」タグに47件掲載（令和5年3月現在）

プログラム構築支援

- ・ 教育旅行を実施するために必要な項目、情報をまとめる
- ・ 教育旅行的視点から、プログラムに+αするとより良さそうな内容を一緒に考えていく

教育旅行中の震災学習の実施率（2022年度催行分）

小学校：46.9%（130校中61校）

中学校：72.1%（61校中44校）

高校：83.3%（42校中35校）

その他：100.0%（6校中6校）

全体：61.1%（239校中146校）



**震災学習の
需要は大きい**

※令和4年度「みやぎ教育旅行バス助成金」申請学校を対象に調査

コロナ禍でも実施された教育旅行

教育旅行はかけがえのない貴重な思い出となる有意義な教育活動
文部科学省から、特段の配慮の上、実施するよう通知された

	中学校	高校
2020年度 (令和2年度)	47.8% 500校／1046校中	23.2% 266校／1147校中
2021年度 (令和3年度)	78.3% 701校／895校中	54.1% 503校／930校中

※日本修学旅行協会発表 2021年度実施の国内修学旅行の実態とまとめ（速報版）より
回答校のなかで修学旅行を国内で実施した学校の割合

なぜ教育旅行で震災・防災・減災学習を推進するのか？

次世代にとって必要な包括的学習

震災・防災・減災学習

震災から教訓を学び、災害から生きのびる知恵・知識を身につける

命の大切さを実感する

豊かな心を育む（情緒）

ふるさとを愛する心を知る

生きる姿勢にふれる

「震災・防災・減災学習」は包括的・多元的な学び

なぜ教育旅行で震災・防災・減災学習を推進するのか？

震災の記憶と教訓を次世代に伝えたい

被災した人たちの思い、多くの若い世代に伝えたい



「教育旅行」という媒体は効果的



震災学習を柱の一つとした教育旅行誘致を積極的に行う必要がある

教育旅行における震災学習のPR

震災学習は多様な学び

様々な課題と結びついており、学校が児童生徒に学ばせたいと考えているテーマにも関係している

◇国内修学旅行で「重点を置いた活動」の分類

<多い順>

歴史学習 中学校618件、高校457件

自然・環境・科学学習 中学校353件、高校249件

(震災・防災学習は 中学校53件、高校57件)

※日本修学旅行協会発表 2021年度実施の国内修学旅行の実態とまとめ (速報版) より

教育旅行における震災学習のPR

石巻市雄勝地区でのフィールドワーク

震災時の被害やその後の復興について
地域の歴史・伝統的な産業について今後の在り方を考える

東松島市の復興事業の講話+スマート防災エコタウン視察

震災後の市の取り組みについて
震災の経験をもとに取り組みられた環境・エネルギー問題の解決について

石巻南浜津波復興祈念公園での植樹+震災講話

災害危険区域となった地域で取り組まれている緑化活動について
植樹体験を通して自然と人との関わりを体感する

今後に向けて

センターの役割

震災学習と様々な学びが結びついていることを示し、
震災を学んでもらう「切り口」を増やす



震災を伝えていく「機会」を増やす

皆様へのお願い

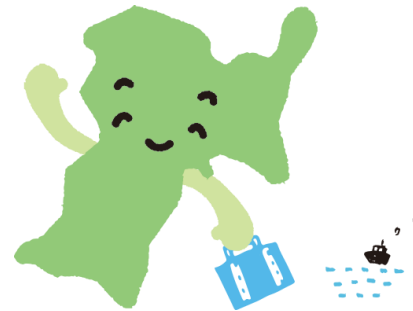
- ・ 情報提供をお願いいたします
- ・ いつでもご相談ください！

ご清聴ありがとうございました



宮城県教育旅行ガイド

<http://www.miyagi-kankou.or.jp/kyouiku/>



宮城県沿岸部情報サイト

みやぎ海への旅案内

<http://miyaumi.info/>

みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター／みやぎ観光復興支援センター

〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1（公益社団法人 宮城県観光連盟内）

TEL：022-265-8722 FAX：022-211-2829 E-mail：m-kyouiku@miyagi-kankou.or.jp